

# 平成30年度 佐賀県立伊万里農林高等学校 学校評価計画

| 1 学校教育目標   | 2 本年度の重点目標  |
|--|---|
| <p>○知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指すとともに、農業教育や林業教育を通して勤労観・職業観を育み、社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>ア 授業の充実を図る。<br/>イ 身だしなみ(服装・頭髪等)の正常化を図る。<br/>ウ 基本的生活習慣を確立させる。<br/>エ 部活動・ボランティア活動の活性化をめざす。<br/>オ 開かれた学校づくりを推進する。</p> | <p>◇「夢・実現」のもと自己有用感を高め、「生徒一人ひとりの社会的・職業的自立」に向けた教育を実践する。</p> <p>①学習意欲を喚起し、基礎学力の定着と学力の向上に努める。<br/>②将来社会人となるために、基本的生活習慣の確立に努める。<br/>③学校行事、生徒会活動、農業クラブ活動に全力で取り組む態度を育てる。<br/>④地域との連携を密にし、学校の情報発信やPR活動に努める。</p> |

## 3 目標・評価

### ①学習意欲を喚起し、基礎学力の定着と学力の向上に努める。

| 領域   | 評価項目                            | 評価の観点<br>(具体的な評価項目) | 具体的目標   | 具体的方策   |
|------|---------------------------------|---------------------|---|---|
| 教育活動 | ○教職員の<br>資質向上                   | 授業力の向上と授業改善         | ・生徒のアンケートで、「授業満足」の割合を80%以上にする。                                  | ・全教諭・講師による公開授業を実施し、参考となる点や課題、生徒の様子等の情報共有から、全体的な授業力向上につなげる。  |
|      | ●学力向上                           | 基礎学力の向上と定着          | ・「朝学習の時間」に主体的に取り組む生徒の割合を90%以上にする。<br>・全生徒の年間での小テスト平均点を70点以上にする。 | ・デジタル教材「Classi」を朝学習の時間に有効活用し、「朝学習」「朝読書」「小テスト」をわかりやすく年間計画の中に組みこむことで、効果的な朝の学習体系を確立する。<br>・分掌・教科・学年団(正副担任)が連携して指導充実とクラス全体の雰囲気づくり努めるとともに、事後指導の充実・徹底を図る。 |
|      | ○教育の質<br>の向上に向けたICT利活用<br>教育の実施 | 教職員のICT利活用能力向上      | ・アンケートで、「積極的なICT利活用の授業実施」に努める教職員の割合を80%以上にする。                   | ・毎学期「ICTを利活用した授業の公開授業週間」を設定することで、授業者の利活用意識の推進と参観者の利活用方法の改善・検討を図る。   |
|      | ○進路指導                           | 生徒の希望進路の実現          | ・進路決定率100%(10年連続)を継続する。   | ・1年次より、進路講演会や進路啓発のためのガイダンスに取り組むとともに、3年生対象の面接や履歴書指導(夏季休業中)を充実させる。<br>・面接指導を全職員で実施し、学校を挙げた指導体制・雰囲気づくりに努める。  |
|      |                                 | キャリア教育の充実           | ・希望進路の早期決定と卒業後の定着率向上につながる指導を充実させる。                              | ・進路指導、各学年、各学科が連携し、分掌ごとの行事やキャリア教育を効果的に融合させ、生徒個人々の進路希望の情報共有を密にすることで、早期の希望進路決定につなげる。   |

### ②将来社会人となるために、基本的生活習慣の確立に努める。

| 領域   | 評価項目           | 評価の観点<br>(具体的な評価項目) | 具体的目標  | 具体的方策  |
|------|----------------|---------------------|--|--|
| 教育活動 | ○生徒指導          | 基本的生活習慣の確立          | ・延べ遅刻者数の前年度比3割減、全体出席率98.5%以上、特別指導者数の前年度比3割減をめざす。 | ・遅刻をしないという意識醸成のための改善策を実施する。<br>・学年・学科・分掌の連携による生徒情報の共有と、組織的な指導体制の確立を図る。   |
|      |                | 身だしなみの正常化           | ・生徒の服装や頭髪を含めたマナー意識率80%以上をめざす。                    | ・日々の「チェックカード」による個別指導を全職員の共通理解と共通指導により実践し、保護者と連携した正常化を図る。<br>・全校集会を効果的に実施し、生徒の意識向上を図る。<br>・日々のHRや学年集会をとおして、マナーアップに向けた指導と雰囲気づくりに努める。 |
|      |                | 校外でのマナーアップ          | ・地域からの信頼を得るため、登下校時の服装やマナーアップに取り組む。               | ・毎週火曜日、全職員での校外登校指導を実施し、校外での身だしなみと交通安全指導、マナーアップ指導を行う。   |
|      | ●心の教育          | 他人を思いやる気持ちや豊かな心の育成  | ・他人への思いやりのある言動がとれる生徒90%以上をめざす。                   | ・地域連携の取組やボランティア活動における地域の方々とのふれあいに加え、人権・同和教育に関する講演会や日々のHR等をおして、人間性豊かな生徒の育成を図る。  |
|      | ●いじめ問題<br>への対応 | いじめの根絶に向けた、生徒の意識向上  | ・「いじめは絶対に許されない」という意識を持つ生徒100%をめざす。               | ・いじめ防止の標語を校内に掲示し、いじめを許さない雰囲気づくりに努める。<br>・日々のHR等で、初期のいじめ事象発見に努めるとともに、HRや学年集会等で、いじめ防止と人権尊重についての指導を徹底する。                              |
|      | ●健康・体づくり       | 望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 | ・朝食を摂って登校する生徒の割合を90%以上にする。                       | ・保健だよりを毎月発行するとともに、朝食に関するアンケートを実施し、朝食を摂ることの大切さを理解させる。<br>・面談等をおして保護者に理解を求める。  |

| ③学校行事、生徒会活動、農業クラブ活動に全力で取り組む態度を育てる。 |                    |                                |  |  |
|------------------------------------|--------------------|--------------------------------|--|--|
| 領域                                 | 評価項目               | 評価の観点<br>(具体的な評価項目)            | 具体的目標  | 具体的方策  |
| 教育活動                               | ○生徒会活動             | 部活動の活性化                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動加入率80%以上をめざす。</li> <li>県総体や新人戦等で、昨年以上の大会入賞をめざす。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の活動をおとして、部活動の意義や効果等を理解させる。また、未加入者に対し、担任・学科の連携により加入促進の指導に努める。</li> <li>日々の練習により体力・技術の向上に努めるとともに、練習試合等をおとして競技力向上を図る。</li> </ul> |
|                                    | ○農業クラブ活動           | 農業クラブ活動をおとした、専門教科に関連する知識・技能の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業クラブ県連大会で、チーム・個人を含め、5部門以上での最優秀・優秀等の入賞をめざす。</li> <li>県連事務局として、県連各種大会の成功をめざす。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内での選考方法を改善することで、早期の指導体制を確立させ、徹底した反復練習に取り組むことで、レベルアップを図る。</li> <li>迎え入れる体制を整えるため、「目配り・気配り・心配り」ができる生徒のマナーアップ指導を徹底する。</li> </ul>  |
|                                    | ○専門教育              | 魅力ある専門教育の実施                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>所属学科の専門学習への興味・関心度を80%以上にする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実験・実習内容の工夫改善に取り組むとともに、内容に応じて地域との連携強化を図る。</li> </ul>   |
| 学校運営                               | ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | 学校行事の精選と効率的運営                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会等の行事の精選を行う。</li> <li>体育祭・文化祭等の企画内容・役割分担の見直しを行う。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に必要な行事の観点から精選を行い、企画・準備等の負担を減らしていく。</li> <li>準備期間の長い行事の内容と役割分担で負担の分散を行うよう見直しを図る。</li> </ul>                                    |
|                                    |                    | 部活動指導の効率的運営                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な部活動休養日の設定を行う。</li> <li>顧問間での指導日の連携</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各部活動、週当たり2日以上休養日を設定し、効果的な指導方法の展開を図る。</li> <li>複数顧問の交代での指導体制を推進する。</li> </ul>  |
| ④地域との連携を密にし、学校の情報発信やPR活動に努める。      |                    |                                |  |  |
| 領域                                 | 評価項目               | 評価の観点<br>(具体的な評価項目)            | 具体的目標  | 具体的方策  |
| 教育活動                               | ○開かれた学校づくり         | 保護者・地域への教育内容の理解                | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業文化祭や学校開放講座を充実させ、来校者・参加者数の増加をめざす。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各科の展示内容・体験実習内容の工夫を図るとともに、生徒が前面にでる校外向け活動の企画と広報活動に努める。</li> </ul>   |
| 学校運営                               |                    | 中学校へのPRの推進                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>体験入学参加者数 250人(引率含む)以上をめざす。</li> <li>新高校の教育内容等の周知と広報活動の充実</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>新高校の学習内容がよくわかる、中学生にとって魅力的な体験入学になるよう検討する。</li> <li>新高校のことがよくわかるパンフレットの作成とPR方法の展開と充実を図る。</li> </ul>                               |
| 学校運営                               |                    | 学校情報の発信                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校だより(至誠)の毎月発行と内容の充実を図る。</li> <li>学校ホームページを月2回以上更新する。</li> <li>積極的なプレスリリース</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動の集約と編集に向け、各学科からの情報提供の推進と内容の充実を努める。</li> <li>HPは常に最新の情報掲載に努めるとともに、携帯版サイト(オクレンジャー)による情報発信を推進する。</li> </ul>                |
| 本年度の重点目標に含まれない共通評価項目               |                    |                                |  |  |
| 学校運営                               | ○危機管理・安全対策         | 事故防止への意識向上                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業・部活動や登下校時の事故(要報告分)の、前年比半減をめざす。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業・部活動での事故防止及び発生時の緊急体制等に向け、研修会等を実施し、生徒・指導者の安全確保に対する意識を高める。</li> <li>校内各所の安全点検を強化し、事務部とも連携した未然防止対策を積極的に行う。</li> </ul>            |

●は共通評価項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目